

テレビ共聴施設



宮内伸彦 総務課長

落合地区41戸のテレビ共聴施設の老朽化に伴い光ケーブルで改修するため計上している。

▽三谷幸一郎議員

民泊事業の本町で受け入れ戸数と、嶺北の民泊協会全体の戸数、その戸数で最大受け入れ可能人数は何人なのか。



下村賢彦 プロジェクト推進室長

本町の民泊軒数が44軒、土佐町が25軒、本山町が12軒、大川村が2軒、計83軒となっており、全体の受け入れ人数は、278名である。

▽三谷幸一郎議員

平成30年度の民泊事業の予約状況は。



体験型教育旅行民泊

▽下村賢彦プロジェクト推進室長

体験型教育旅行民泊の予約状況は、現在9校で延べ人数836名となっている。そのうち海外(台湾)、3校と主に大阪府の学校である。

▽小笠原妙子議員

6次産業化による地域ブランド事業委託料の内容の説明を。

▽小林雅文産業建設課長

ブルーベリーを基軸とし

た6次産業化を図るため計上している。委託先は高知大学である。

▽藤丸高德議員

中山間地域等直接支払制度は、あと2年間だと思いが、その後の継続はあるのか。

▽小林雅文産業建設課長

第5期については、未定である。

人事案件

固定資産評価審査委員会委員の選任(賛成・全員)



住所 大豊町黒石361番地1  
氏名 吉田 敏雄

町政を問う (一般質問)

Q 1

問 積雪時の除雪対応を問う

答 対応する



三谷幸一郎 議員

この冬は異常なまでの超低温の日々が続き、水道管の破裂や凍結による断水、積雪や路面凍結で大変な冬だった。毎年積雪時には、町内各地域で町道等の除雪作業を行って

れば他にいい方法はあるのか。  
▽岩崎憲郎町長  
地域の皆さんの意見、あるいは現地での状況を調査して、対応できることはしっかりと対応していく。

Q 2

問 町道の危険個所にガードレール等の設置を早急に

答 順次改善していく

道幅が狭い町道がいまだ多くある。日々の運転に危なく怖いとの声をよく聞く。特に積雪時や凍結時にはガードレールも駒止めも無く高齢者や女性ドライバーから運転が怖い

オーバーレイ補修した町道



と悲鳴が上がっている。また、再舗装により路面が跳び箱状のようになり、せつかつくあった駒止めも低くなっており、用を成していない箇所も多い。高齢者も運転できない日々の生活ができないのが現状である。また、観光や地域での各種イベント民泊事業等で町外からのドライバーも増え支障が出ている。町道の危険個所を点検し早急にガードレールや駒止めの設置を望む。

▽岩崎憲郎町長

住民の皆さんの交通安全、安心を確保するため、今後とも安全施設など住民生活に直結する社会資本の整

Q 3

問 国保料負担軽減を求める均等割負担の軽減で子育て支援を図れ

答 激変緩和の措置をとる



前野由和 議員

4月より県が国保運営の主体になる。課税内容も県が示した内容に近い対応となるのか。

▽岩崎憲郎町長

県の指針に基づいて資産割を廃止、所得割と世帯単位にかかる平等割と被保険者各自にかかる均等割の3区分からなる課税方式に変更する。

▽前野由和議員

国保は世帯員が多くなるほど負担が大きくなる均等割がある。子どもにかかる均等割については全額免除や一部免除など子育て支援の一つとして実施している自治体も多いが、支援策が採れないかを問う。



高知医療センター